

# 土肥ホームトピックス



福利厚生

法人の設立記念日に合わせて、永年勤続及び業務優秀（団体）表彰をいただきました。



土肥ホーム

獅子舞が施設内を練り歩き、邪気を祓いました。



菜の花ホーム

雑祭り行事では、お雛さまを模したクレープをいただきました。



戸田  
デイサービス

川添いに咲く満開の桜を見にいきました。



いきいき  
クラブ

「コーロスマイル」の皆さんがコーラスを披露してくれました。



菜の花  
ホーム

春の陽気に誘われて、津波避難複合施設「テラス オレンジ トイ」へ出掛けてきました。



土肥ホーム

あらたに理学療法士が入職し、日常生活の中に身体を動かす機会を取り入れています。



土肥ホーム

土肥ホーム菜園にて、ナスやキュウリ、オクラなどの夏野菜の苗植えを行いました。

# はまゆう

第100号



地域みなさまに愛されて

# 100号記念

信愛会  
理信  
愛・信頼・貢献

## 令和8年度事業計画

土肥ホーム、  
戸田デイサービスセンター  
施設長 福室 悦子



令和8年度の事業計画の要として、地域在宅高齢者の生活を継続していく事を目的とした従来の介護保険サービスを柔軟に補完する新たな独自の自主事業を展開していきます。福祉資源が限定される地域において継ぎ目のない高齢者への生活に密着した独自のサービスを拠点サービスならではの高齢者の生活に密着し、生活上のニーズをキャッチし、実際のサービスに繋げていきます。また、土肥ホームの専門集団として付加価値を高め、広域に発信していくことを目的とした周囲の関係団体に向けた研修活動をスタートさせていきます。人材確保の課題では、外国人介護職の長期的な定着のために雇用体制の整備や育成プログラムの浸透など、外国人介護職の介護力が十分に介護現場で最大限活用されるよう教育と職場環境整備の強化を図ります。

継続的な取組として介護DXの深化では、内部的な活用の幅を広域的な利用者家族や事業所間などで情報共有や活用を更に進めていきます。

物価高騰や賃上げ、人材紹介料などのあらゆる経費が増大し、経営状況が逼迫している状況ではありますが、老朽化施設の設備更新や利用者の生活環境の改善、職員の働きやすい環境づくりなど中長期的に設備整備の更新の実現のために、安定経営にむけた収益性を高め、経営力強化のため新たな自主事業展開、部門間で空所ベッドを最小化していく綿密なサービス部門を跨いだ調整など、更に経営安定のために対応していきます。

防災関係では新たに実践的なBCP取組のため専門部会を創出しました。



2人ともに3月から土肥ホームで勤務中。皆さん、よろしくお願いします。

私はティンともうします。特養で働くことができ、とても嬉しいです。利用者様に優しく、安心して生活できるようにサポートしたいです。まだ、日本語が分からない事も多いですが、先輩方から多くのことを学んで一生懸命勉強して頑張ります。どうぞよろしくお願いたします。



THIN THIN MYAT さんと MAY ZIN SOE さん  
(ティンティンミヤツ) (メイジンソー)

私は特養で働くことができとても嬉しいです。利用者様一人一人に優しく、安心して過ごしていただけるように頑張りたいと思います。また、先輩方からたくさん学びながら、自分のスキルを高めていきたいです。いつも笑顔忘れず、一生懸命働きます。よろしくお願いたします。

マヤンソー  
ティンティンミヤツ

## 土肥・戸田 ホームページ

戸田デイサービス



戸田デイサービスの紹介

土肥ホーム



土肥ホームの紹介



Follow me!

公式アカウント名

tokuyou\_toi

## 編集後記

「はまゆう」は、平成7年の創刊から数えて31年、歴代の広報委員会からバトンを引き継ぎ、今号で記念すべき100号を迎えることができました。「はまゆうのあゆみ」の特集では、手書きの創刊号から始まり節目の各号を振り返りましたが、大変感慨深く感じています。次号101号からも皆様と施設を繋ぐ架け橋として、日常生活の様子やたくさん笑顔をお伝えし、より充実した誌面をお届けしていきます。（広報誌部会一同）



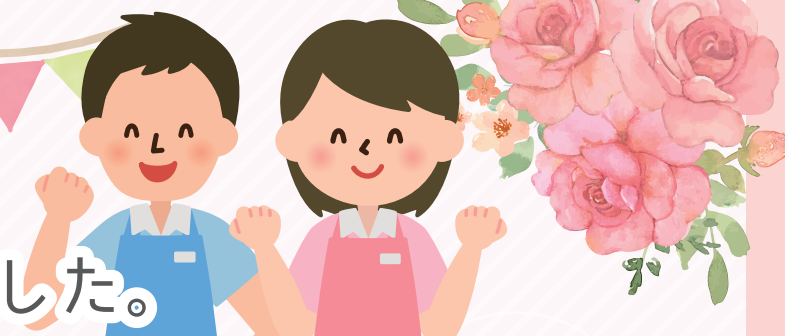
発行：社会福祉法人信愛会  
土肥ホーム  
住所：〒410-3301 静岡県伊豆市小土肥787-2  
電話：0558-98-2900  
発行者：福室悦子

戸田デイサービスセンター  
住所：〒410-3402 静岡県沼津市戸田1575-1  
電話：0558-94-5550

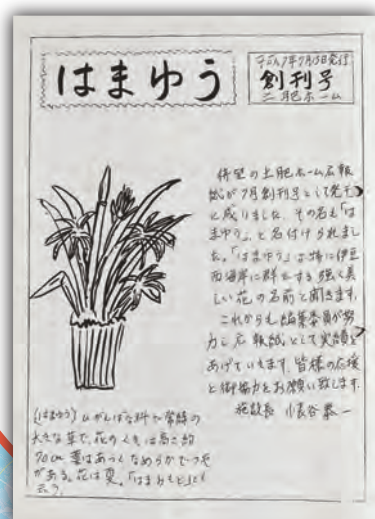


# 家はまゆうのあゆみ

地域の皆様に愛されて「はまゆう」は100号を迎えることができました。



## 創刊号



土肥ホーム創立から二年後の平成七年に手書きの創刊号が発行  
(平成七年七月発行)

## 20号



夏の恒例イベントとなっていた土肥ホーム納涼祭の記事が掲載  
(平成十三年八月発行)

## 51号



開設されたグループホーム菜の花ホームの記事が掲載  
(平成二十三年五月発行)

## 92号



土肥ホーム創立三十周年記念号として発行(令和五年十一月発行)

## 17号



土肥ホーム五十床への増床と戸田村デイサービスセンター創刊の記事が掲載  
(平成十一年四月発行)

## 40号



納涼祭をはじめ、いろいろな行事の様子が掲載(平成二十年八月発行)

## 60号



エコ委員会が中心となったエコ活動の記事が掲載  
(平成二十五年八月発行)

## 27号



今号から全ページカラー版として発行(平成十六年十月発行)

## 80号



秋の外出行事でのインパクトのある写真が表紙を飾りました  
(令和元年九月発行)

## 100号



百号記念誌として、今号限定六ページで発行  
(令和八年五月発行)

## 部署あいさつ



土肥ホーム

主任  
土屋 春奈

外国人職員も増え、今まで以上に馴染みやすい環境づくりに努め、これまでと変わらず安心してお任せいただけるよう取り組んでまいります。



土肥  
デイサービス  
リーダー  
新谷 裕生

住み慣れた土肥でいつまでも元気に過ごしていただけるよう、毎日足を運びたいような安心と心地よさのあるデイサービスを目指して取り組んでまいります。



菜の花ホーム  
主任  
荒川 ゆかり

ご利用者の皆さま一人ひとりに寄り添い、笑顔で日々穏やかに、安心して暮らさるよう大切に支えていきたいと思ひます。



戸田  
デイサービス  
主任  
浅賀 えみ子

利用者さまが「ここに来てよかった」と感じられる温かい居場所をつくりまします。笑顔と交流を大切に、穏やかな日々を支えてまいります。



居宅介護  
支援センター  
主任  
佐藤 孝之

ICTを活用し業務を効率化しご利用者さまとご家族に寄り添う時間を確保。地域資源が少ない中でも関係機関と連携し、住み慣れた暮らしを支えるケアプランを届けまします。



ショートステイ  
主任  
土屋 春奈

ご家族とのつながりを大切にしながら、安心してショートステイをご利用いただける環境づくりに努めてまいります。



地域包括  
支援センター  
主任  
鈴木 千文

地域の皆様とのつながりを深め、気づいた困りごとを共有し、地域を支える方々と協力しながら活動や支え合いを進めていきます。



ホームヘルプ  
サービス  
主任  
長倉 千景

住み慣れた家で、いつまでも生活できるようにその人のニーズに合わせて支援していきなすと思ひます。



事務  
管理サービス課長  
河内 政和

地域の皆様が安心して生活できるように、利用しやすいサービスと働きやすい職場環境を両立させ、職員全員が力を合わせて持続可能な事業運営と地域貢献に邁進して参ります。



厨房  
主任  
鈴木 明美

皆様の健康と笑顔の為、安心・安全なバランスの整った美味しい食事作りに努めて参ります。心を込め丁寧に「おもてなし」の気持ちで料理をお届けまします。

## 委員会活動

### 研修委員会



職員が学び合える環境を整え、日々の仕事などに生かせる研修を目指していきなすと思ひます。

### 防災委員会



毎月の防災訓練を通じて職員の防災意識を高めるとともに、小土肥地区地域防災協定に基づき住民と連携した訓練にも取り組み、地域全体で災害に備える体制を目指まします。

### 互助会



互助会は職員の福利厚生のための活動をしてまします。今年度もコロナ禍の影響が抜けきらず大きな活動を自粛してまします。そのような状況下でも職員の皆様楽しんでいただく活動を企画してまします。

### 広報委員会 HP 部会



今年度からメンバーが変わり、新たな気持ちで活動してまします。ホームページやYouTubeで土肥ホームの様子をご覧いただけるかと幸ひです。

### 広報委員会 広報誌部会



広報誌「はまゆう」の編集・発行を通じて、日常生活の様子や様々な取組みなどをお伝えしてまします。